

戦後派お化け大会（1951）

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 102分

初公開日 1951/08/03

【解説】

石坂洋次郎の小説『石中先生行状記』の一編をもとに「恋文裁判」の井手俊郎と「若様侍捕物帖 呪いの人形師」の井上梅次がシナリオを書き「にっぽんGメン 不敵なる逆襲」の佐伯清が監督した。撮影は「盗まれた恋」の横山実、音楽は「恋文裁判」の黛敏郎がそれぞれ担当。三船敏郎が劇中でピエロ姿を披露している。

石中先生の帰省にあわせて、夏祭りで劇を発表しようと計画する青年グループ。しかし資金面で困った彼らは、巡業の見せ物であるお化け屋敷でアルバイトをすることに。お化け屋敷は大盛況のうちに終わるが、そのとなりのサーカス小屋では行方不明となっていた謙二がピエロに扮していた。神主の娘であるカナ子は謙二に想いを寄せており…。

【クレジット】

監督 佐伯清

製作 金子正且

原作 石坂洋次郎

「石中先生行状記」

脚本 井手俊郎

井上梅次

撮影 横山実

美術 下河原友雄

音楽 黛敏郎 Toshiro Mayuzumi

出演 宮田重雄	石中先生
伊藤雄之助	中村金一郎
藤原釜足	島田善兵衛
清川玉枝	妻さだ
西條茂代子	娘節子
小林桂樹	島田雄作
中村是好	渋谷天海
杉葉子	娘カナ子
相馬千恵子	村井君代
川喜多小六	弟友雄
桜井良子	川上ハル子
井上大助	弟大助
河村黎吉	父親源さん
原利一	安藤国雄
鳥羽陽之助	金又親分
江見渉	学生

